



九州弁護士会連合会 高齢者・障害者支援に関する拡大協議会

シンポジウム

セルフネグレクト

～支援を拒否する人への支援を考える

令和6年2月17日(土) 13時～17時

会場

福岡県弁護士会館2階大ホール

福岡市中央区六本松4-2-5

参加方法と定員／会場参加(150名)、Zoom ウェビナー(500名)

対象者／医療・介護・福祉職、行政職、法律職、一般の方々



Program

1 基調講演

東邦大学看護学部長 教授 岸 恵美子先生(看護師、保健師、看護学博士)

2 パネルディスカッション

アドバイザー

▶ 東邦大学看護学部長 教授 岸 恵美子先生

パネラー

▶ 福岡市西区保健福祉センター地域保健福祉課 権利擁護等担当主査 渡邊 理恵氏

▶ 城南区障がい者基幹相談支援センター コーディネーター 佐藤 陽介氏

▶ 美野島ケアプランセンター代表・主任介護支援専門員 工藤 明美氏

▶ (公)福岡県社会福祉士会 ぱあとなあ福岡所属・社会福祉士、精神保健福祉士 寺澤 景子氏

▶ 福岡県弁護士会 高齢者・障害者等委員会 弁護士 岩城 和代氏

コーディネーター

▶ 福岡県弁護士会 高齢者・障害者等委員会 弁護士 篠木 潔氏

参加無料

Zoom併用にて
開催

Profile

岸 恵美子氏

東邦大学看護学部長 教授(看護学博士)
日本赤十字看護大学大学院博士後期課程修了。東京都で16年間保健師として勤務した後、日本赤十字看護大学准教授、帝京大学教授を経て、2015年より東邦大学看護学部／大学院看護学研究科教授。
高齢者虐待、セルフ・ネグレクト、ゴミ屋敷、孤立死を主に研究。日本高齢者虐待防止学会理事、日本公衆衛生看護学会理事のほか、多くの自治体の審議会委員を務められている。著書は『セルフ・ネグレクトの人への支援 ゴミ屋敷・サービス拒否・孤立事例への対応と予防』(中央法規)、『セルフ・ネグレクトの Assessment とケア ツールを活用したゴミ屋敷・支援拒否・8050問題への対応』(中央法規)他。

シンポジウム

セルフネグレクト

～支援を拒否する人への支援を考える

私たち弁護士が相談を受ける困難事例として、医療・福祉や行政の現場での「支援が必要な方の支援拒否事例」があります。本人や家族が支援を拒否さえしなければスムーズに行く権利擁護が、セルフネグレクトという本人の自己決定(権)の行使によって大きく阻害され、生命、健康、財産等の人権が危うくなってしまふという悩ましい問題です。いわゆるゴミ屋敷などの事例では、近隣住民とのトラブルへと発展することも少なくありません。そこで、何らかの支援が必要です。しかし、支援を拒否される方とどうすれば繋がることができるのでしょうか？ ご本人の拒否という意思決定との関係でどこまで踏み込んでよいのでしょうか？ しかし、そのような躊躇から支援を止めてしまふと社会的ネグレクトになりはしないか？

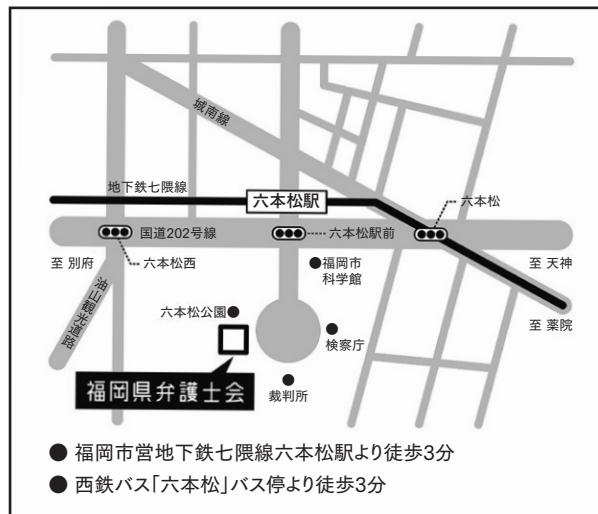
そのような疑問や思いから、近年増えつつある「支援を拒否する人への支援」をテーマに、その現状、原因、種類、問題点、対処方法、予防策、今後の課題等について、みなさんと一緒に学びたいと考え本シンポジウムを開催することにいたしました。

タイムスケジュール(予定)

13:00～13:05(5分)	開会の挨拶
13:05～14:30(85分)	基調講演(岸恵美子教授)
14:30～14:45(15分)	弁護士会によるアンケート調査結果の報告その他 (※福岡市の地域包括支援センターと区障がい者基幹相談支援センターの成功事例から導かれるアプローチ方法 その他)
14:45～14:55(10分)	休憩
14:55～16:45(110分)	パネルディスカッション
16:45～16:55(10分)	質疑応答
16:55～17:00(5分)	閉会の挨拶

※一応の目安ですので、多少変更する場合があります。

MAP



●当日は駐車場をご利用できませんので、公共交通機関や近隣の有料駐車場をご利用ください。

会場参加 定員/150名(先着順)

オンライン参加 定員/500名(先着順)
(Zoom ウェビナー)

[申込方法]

下記のURL又は右記の二次元コードからお申し込みフォームにアクセスしてください。

<https://forms.gle/j8PMCgKFzTeLTDFS9>



お申込期限 令和6年2月5日(月)

※手話通訳、要約筆記モニターをご用意いたします。

[お問い合わせ]

本シンポジウムに関するご質問は、福岡県弁護士会までお問い合わせください。

TEL 092-741-6416

福岡県弁護士会 福岡市中央区六本松4-2-5